



令和元年度
名城大学祭



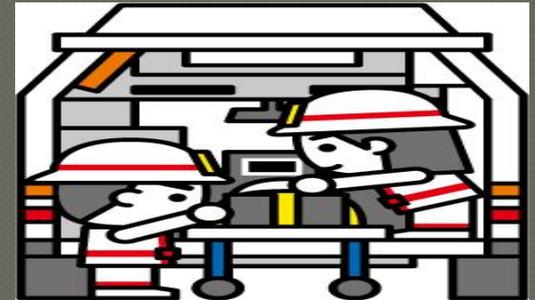
大学祭における火気の取扱い

令和元年8月29日(木)
名城ホール

総務部(防火・防災担当) 高柳 秀和

京都府福知山市の花火会場で 発生した爆発火災（H25.8.15）

死者3名、負傷者57名
発電機へガソリン給油中爆発



火気の使用届出が必要な露店・屋台

火気使用届出対象の機器（例）（名古屋市火災予防条例）

気体（ガス）燃料

- | | | | |
|---|-------|---|-----------|
| 1 | ガスこんろ | 2 | 卓上カセットコンロ |
| 3 | フライヤー | 4 | グリドル |
| 5 | たこ焼き器 | | |

固体（炭、まき）燃料

- | | | | |
|---|-----------|---|----|
| 6 | バーベキューこんろ | 7 | 七輪 |
|---|-----------|---|----|

電気を熱源

- | | | | |
|----|---------|----|--------|
| 8 | ホットプレート | 9 | I H調理器 |
| 10 | 電子レンジ | 11 | 電気こんろ |

- 13 その他これらに類するもの

名古屋市火災予防条例

第24条（気体燃料を使用する器具 抜粋）

- 1 不燃性の床上又は台上で使用する。
- 2 故障し、又は破損したものを使用しない。
- 3 本来の使用燃料以外の燃料を使用しない。
- 4 本来の使用目的以外の用途に用いない。
- 5 器具の周辺は常に整理整頓する。
- 6 点火した状態で放置しない。
- 7 器具のホースは、その器具に応じた適当な長さとし、ボンベは転倒防止を図る。
- 8 ホースの結合部は、金具等で固定する。



模擬店プロパンガス引火事案

- ◎ 期日：平成30年11月2日（金）12時頃
- 場所：天白C 保健センター前付近：模擬店（運動部・麺類販売）
- 内容：他のコンロにガスを供給するためのガス接続口に巻いてあるビニールテープがバーナー部の高熱により溶融し、接続口から漏れたガスに引火した。
- 消火：学生がボンベの元栓を閉め、引火した火に水をかけ消火
- 原因：ガスコンロの構造不良（不適正措置）



カセットコンロでガスボンベ使用時の注意点

- ◎ ボンベを過熱すると容器内圧力が上がり爆発する危険性がある。
- ◎ 禁止行為
 - ◎ 1 カセットコンロで炭の火を起こす。
 - ◎ 2 ボンベをストーブなど熱気のあたる場所に置く。
 - ◎ 3 ボンベを火の中に投げ入れる。
 - ◎ 4 ボンベを40°C以上になる車等の中に置く。
 - ◎ 5 ボンベを電磁調理器の上に置く。
 - ◎ 6 こんろ（グリル）を2台以上並べて使用する。
 - ◎ 7 ボンベのカバーを少しでも覆うような鉄板や鍋などを使用しない。

第26条（電気を熱源とする器具）（抜粋）

- 1 複数の電気器具を使用するときは、定格電流の合計値が、電線の許容電流をこえる状態で使用しない。
- 2 自動温度調節装置及び温度ヒューズ等の安全装置は、みだりに取りはずさない。
- 3 みだりに通電したままの状態では放置しない。
- 4 不燃性の床上又は台上で使用すること。
- 5 故障し、又は破損したものを使用しないこと。
- 6 器具の周囲は、常に整理及び清掃に努める。
- 7 器具の周辺に可燃物を置かない。

模擬店で使用中のコードリールより出火 平成28年11月3日

全ての火気（ホットプレート等を含む）を使用する場合の注意点

その場を離れない。⇒ 離れるときは火を止める。

ソフト対策

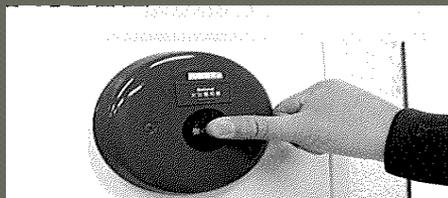
- 1 火災時の対応要領をメンバーに徹底
- 2 消火器の操作方法を理解
- 3 水での消火は、危険な場合があることを理解
- 4 避難経路を係員（店員）全員に周知

ハード対策

- 1 非常時に必要なスペースを確保
- 2 火の近くに燃えやすい紙等可燃物を置かない
- 3 火気使用時は必ず監視する
- 4 使用する機器(ホース等)は適切な物とする

火災が発生したときの対応要領

- 1 周囲の人に大声で火災を知らせる。
建物では発信機を押して人に知らせる。



- 2 近くにある消火器で初期消火を行う。
- 3 「119番」へ通報し、教職員等に報告する。



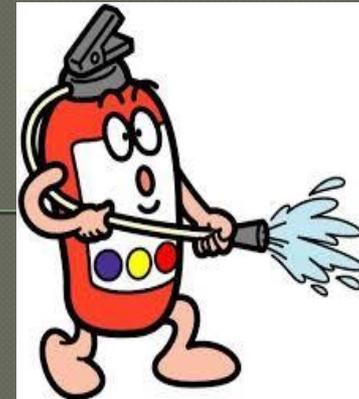


「119番」 通報要領



- 1 最初に「**火災か救急か**」を聞かれる。
- 2 火災の「**発生場所**」を聞かれる。
- 3 「**何が燃えているか**」を聞かれる。
- 4 「**けが人がいるか**」を聞かれる。
- 5 不明な事は「**分からない**」と答える。

消火器の取扱方法



① 黄色の安全栓
を引き抜く



② ホースを外し
火元に向ける

③ レバーを強く握って、
薬剤を放射する

※油に水をかけて消火しようとするすると炎が急激に拡大し、周囲に油が飛び散って大やけどをする場合があります、大変危険です。

※油には絶対に水をかけないでください。

消防署届出書類に必要な情報



- 1 どの場所に出店するか
- 2 どのような器具で調理するか
- 3 消火器はどこに設置するか

- 消防署への届出期日：10月24日（木）
- 10月15日（火）までに実行委員会から情報提供をお願いします。



皆さんで相互に協力し、

防火管理上・衛生管理上・環境保全
上、細心の注意を払って、

大学祭を楽しい思い出にして下さい。

(ご清聴ありがとうございました。)